

No.	年度	課程	氏名	題名
1162	2010	H22	長 桑原 智子	研究機関における研究アーカイブズの現状と課題
1163	2010	H22	長 川口 雅子	美術館の機関アーカイブズに関する一考察—カナダ国立美術館展覧会史プロジェクトを中心に
1164	2010	H22	長 齊木 朋子	オーラル・ヒストリー —集めた口述の利用へのプロセス
1165	2010	H22	長 後藤 明日香	大学史資料の公開方法について—東京女子医科大学史料室所蔵資料のアーカイブ化—
1166	2010	H22	長 野口 文	福岡市総合図書館における古文書資料収集と利用に関する現状と課題について—市博物館との連携を視野に入れて—
1167	2010	H22	長 松野 聡子	守屋家文書にみる「社家大頭」職の機能と史料群構造
1168	2010	H22	長 南 隆哲	「真田家文書」における文書管理と伝来—「御蔵内日記書類下調」を素材として—
1169	2010	H22	長 伊吹山 初子	京都冷泉町文書の文書群構造についての—考察
1170	2010	H22	長 岩井 優多	日本独自の文書概念の成立—正倉院文書を例に—
1171	2010	H22	長 大町 麻衣	韓国ハンセン病「定着村」アーカイブズ—オーラルヒストリーを手がかりに—
1172	2010	H22	長 萱場 真仁	『弘前藩庁日記』と弘前藩の構造について
1173	2010	H22	長 菅野 将史	川越商人井上家文書の構造分析と公開目録の諸問題
1174	2010	H22	長 小松 邦彦	埼玉県 の地域史料の保存と管理に関する一考察
1175	2010	H22	長 小山 景子	鳥取県における学校史料の史料学的研究—米子市角盤高等学校を題材に—
1176	2010	H22	長 佐藤 愛未	明治初期の福島県庁における行政文書管理について—福島三県合併を中心に—
1177	2010	H22	長 澤村 怜薫	近世後期における名名家の文書管理認識の一考察—相模国高座郡下鶴間村長谷川家を事例として—
1178	2010	H22	長 柴田 葵	パブリック・アート関連資料のドキュメンテーションについて
1179	2010	H22	長 須田 剛広	東京芸術大学音楽関係アーカイブズの構造分析試論
1180	2010	H22	長 高橋 邦幸	日本古代太政官における文書管理—『類聚三代格』を中心として—
1181	2010	H22	長 高橋 詩織	公文書管理法への地方自治体の対応に関する一考察—山形県の事例から—
1182	2010	H22	長 竹ヶ原 康佑	徳川礼典録にみる明治期国家儀礼編纂の諸相
1183	2010	H22	長 武田 美紗子	昭和期の史料の劣化調査と保存処置について—山口重次文書を例に—
1184	2010	H22	長 田嶋 悠佑	群馬県における地域史料の保存と課題
1185	2010	H22	長 日向 玲理	外務省記録の構造—「満州ペスト処理問題文書」を事例に—
1186	2010	H22	長 藤田 千彩	ウェブサイトにおけるアーカイブズの可能性—アートの場合
1187	2010	H22	長 藤本 守	国立国会図書館における文書資料の利用提供の現状と課題
1188	2010	H22	長 矢代 寿寛	アーカイブズにおける文書発生段階でのメタデータ作成とその評価手法
1189	2010	H22	長 山崎 和真	史料保存利用機関における普及活動の意義と位置付け
1190	2010	H22	長 若林 真気子	静岡県文書館活動の課題からみる浜松市文書保存運動の展望
1191	2010	H22	短 井口 春和	公文書管理法の精神と研究機関アーカイブズの課題
1192	2010	H22	短 石橋 里恵	日本脚本アーカイブズにおける現状と展望
1193	2010	H22	短 太田 研	公文書館講座にみる普及活動への新たな取り組み
1194	2010	H22	短 川和田 晶子	広島大学図書館に於ける総合的なIPM取り組みによる貴重資料の保存管理について
1195	2010	H22	短 小池 美津貴	史料にたどり着くために—飯田市歴史研究所の事例
1196	2010	H22	短 今野 徹	福島県歴史資料館における県庁文書の整理状況と今後の課題
1197	2010	H22	短 酒井 ふみよ	東洋英和女学院史料室 所蔵写真データベース化の計画
1198	2010	H22	短 櫻井 和人	宮城県白石市における史料保存の現状と課題
1199	2010	H22	短 佐々木 雅美	立命館における学園史資料収集ならびに普及活動の現状と今後の展望
1200	2010	H22	短 砂月 明海	天草アーカイブズの地域史料に関する事業運営計画について
1201	2010	H22	短 佐藤 明俊	奈良県立図書情報館所蔵する公文書の構成について

No.	年度	課程	氏名	題名	
1202	2010	H22	短	神村 和輝	自治体史編纂事業と歴史資料の保存と活用－南丹市八木町史編さん事業を事例に－
1203	2010	H22	短	鈴木 孝子	収蔵資料にみる構造分析と資料整理の一考察
1204	2010	H22	短	瀬川 良明	北海道教育大学におけるFD活動のデジタルアーカイブ化
1205	2010	H22	短	高本 明博	横手市史編さん事業と公文書館設置検討の経緯について
1206	2010	H22	短	中川 望	小型映画機材の目録化
1207	2010	H22	短	仲村 美奈子	ライデン国立民族学博物館ならびにライデン大学収蔵の日本資料について
1208	2010	H22	短	難波 忠清	核融合科学研究所“核融合アーカイブ室”設立に至る過程と今後の方向性について
1209	2010	H22	短	西田 敬之	指定管理者制度とアーカイブズ－松原市郷土資料館における古文書整理の現場から－
1210	2010	H22	短	原 太一	近現代史料論と近現代の金石史料調査－可児における戦争に関する記念碑調査を例として－
1211	2010	H22	短	船田 元司	宇土市が所蔵する歴史資料保存活用について
1212	2010	H22	短	松原 万理子	中部学院大学附属図書館における地域資料の収集について
1213	2010	H22	短	蓑口 愉花	小樽商科大学におけるアーカイブズの可能性
1214	2010	H22	短	村上 聖一	放送史資料 収集・整理の現状と課題 ～NHK放送文化研究所所蔵資料を中心に～
1215	2010	H22	短	目次 謙一	石見銀山世界遺産センターにおける歴史資料の保存と活用
1216	2010	H22	短	山口 希世美	写真資料の保存とデジタル化について
1217	2010	H22	短	山西 史子	歴史史料と図書館資料のデータベース
1218	2010	H22	短	山本 恵理	地方小規模女子大学のアーカイブズの存在意義を考える－ノートルダム清心女子大学資料編纂室の活動を通して－
1219	2010	H22	短	山本 梨加	中村家文書について－調査報告と構造分析の試み－